

背脂肪厚測定器

エニースキャン BF

この度は Songkang 社の背脂肪厚測定器エニースキャン BF をご購入いただき、誠にありがとうございました。

本器は、3層の背脂肪厚を同時に測定・表示できる新しいタイプの背脂肪厚測定器です。ご使用に当り、本説明書をよく読み、使用法・注意点等をご確認の上、ご使用ください。

本体の構成



本体	×1台	プローブ	×1個
プローブケーブル	×短・長各1本		
携行用アームベルト	×1本		
オイルボトル	×1本 (流動パラフィン用)		
バッテリーチャージアダプター	×1台		
テストブロック	×1個		

ご使用方法

1. 使用前の準備

バッテリーの充電：

本器は出荷時に充電されております。

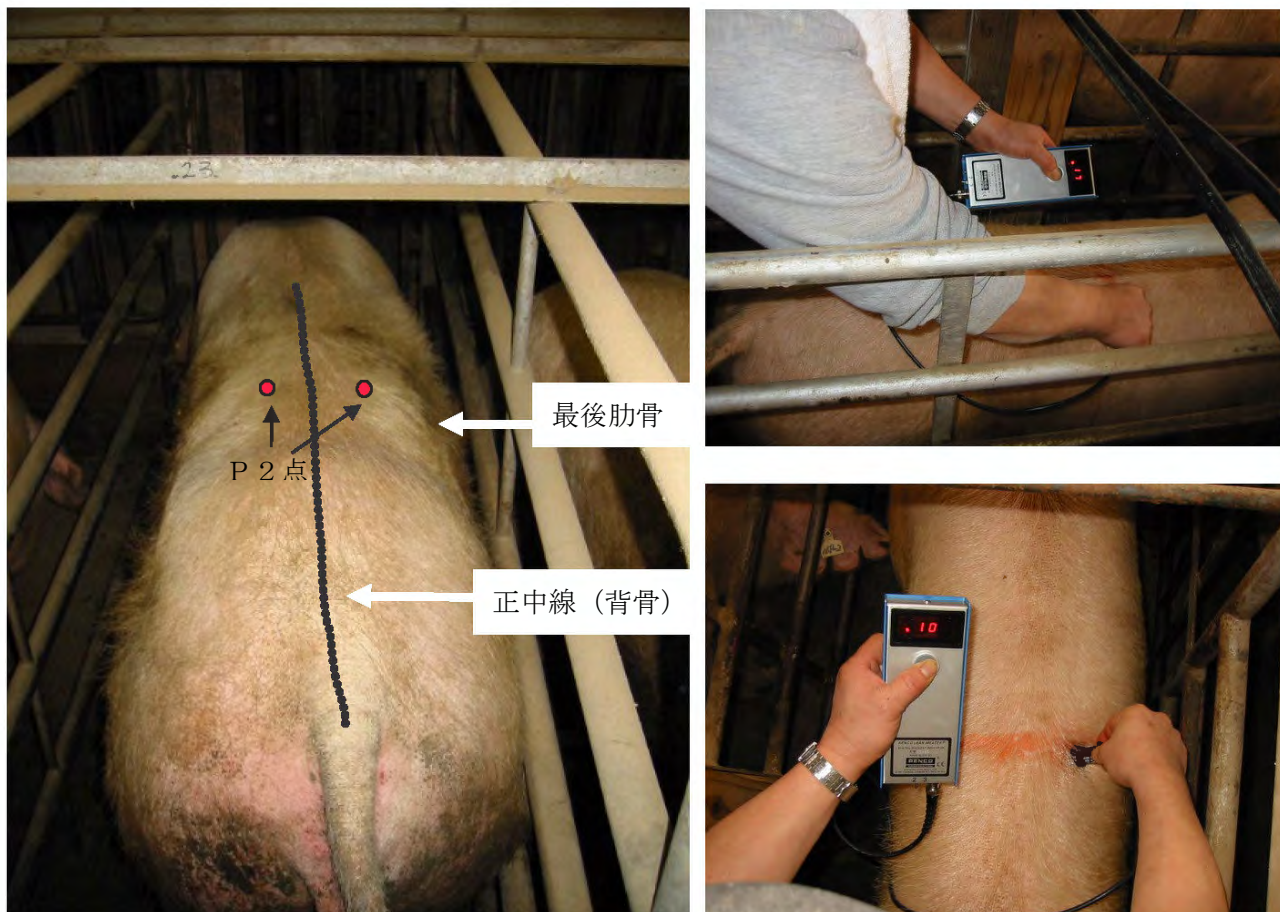
バッテリーの充電時間は3時間で、11時間の連続運転が可能です。

2. 測定部位

P 2 点の位置：

背脂肪厚を測る最も一般的な箇所（P 2）は豚の最後肋骨位の正中線（背骨）から左右に指3～4本分（6 cm）離れた位置です（図1参照）。

図1 P 2 点の位置

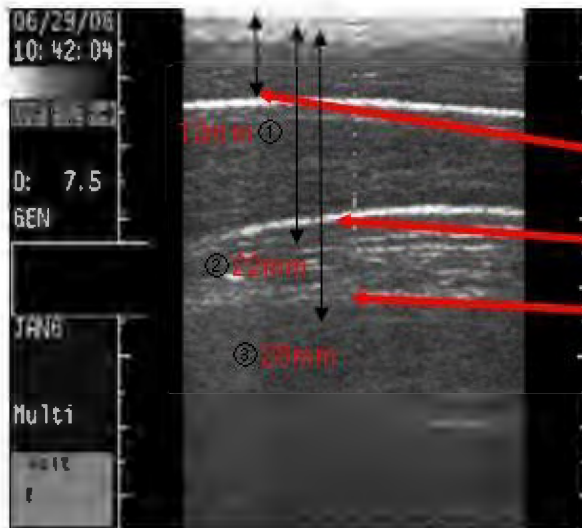


3. 測定方法

- ①本体をアームベルトにセットして腕に装着可能です。
- ②電源ボタンを押して、本体を起動します。
- ③○で囲んだ範囲に流動パラフィンを十分塗布します。
- ④プローブを皮膚に軽く押し付けて数回円を描くようにして流動パラフィンと馴染ませて皮膚と密着させます。
- ⑤インジケータの上から 2 番目に表示される数字（第二層までの背脂肪厚）が P2 値です。
* 測定値は mm 単位で表示されます。



インジケータ（表示部）の説明



* 豚の場合、3 層ある脂肪のうち、第 3 脂肪層（一番深い層）は増減が大きく、また筋肉との境界面の凹凸により、測定位置の若干のずれで測定値が大きく変わってしまうことがあるため、第 2 脂肪層までを指標としています。

4. 測定時のポイント

- ・ 被毛が長い場合には、あらかじめ毛を刈っておくと密着しやすくなります。
- ・ もしプローブが適切（垂直）にあたっていない場合は異常な数値が表示されますので、同じ場所を2～3回測定してその平均値を取るとよいでしょう。
- ・ プローブのあて方が不適切な場合、インジケータの数字が“0”のまま反応しなかったり、測定値がバラついたりしますので、流動パラフィンを追加して再度検査しましょう。

*超音波は液体を透過出来ますが、空気は透過できません。

従って**皮膚とプローブをしっかりと密着させて正確に測定しましょう。**

5 本体の測定機能の確認

本機の測定値の精度を確認するためのテストブロック（透明の円筒状プラスチック）が付いており、ズレが生じることがないかを簡単に確認することが出来ます。

方法

- ① 電源を入れる。
- ② テストブロックの円形の平面部分に流動パラフィン（水でも可）を1～2滴乗せる。
- ③ プローブを円形の平面部にあてる。
- ④ インジケータ上段に“11-12”、中段に“25-26”と表示されれば正常です。



背脂肪計活用のポイント

背脂肪厚をモニターして、ベストコンディションで分娩を迎えさせましょう。成績向上のポイントは離乳時に出来るだけ痩せさせないことです。

1. ギルト

育成時、繰り上げ時での測定をお勧めします。

2. 母豚

- ①分娩舎導入前
- ②離乳時
- ③妊娠鑑定時（種付け後、20-30日前後）

①-②、或いは①-③を個体毎にモニターしていきましょう。

*測定した値を目安としてカラーマーカーで母豚の背中に記入しておくこと、現場での確認に非常に便利です。

3. 肉豚（雄豚）

農場によっては、出荷時の選豚に利用されているようです。雄豚も極度に痩せさせることが無いように十分注意しましょう。

次項の付録に一般的な目安をご紹介しますが、目標にする背脂肪厚は、育種・餌・環境によって異なりますので、農場毎データを取って設定することをお勧めします。

付録

表 1 背脂肪測定値と妊娠中給餌量の目安

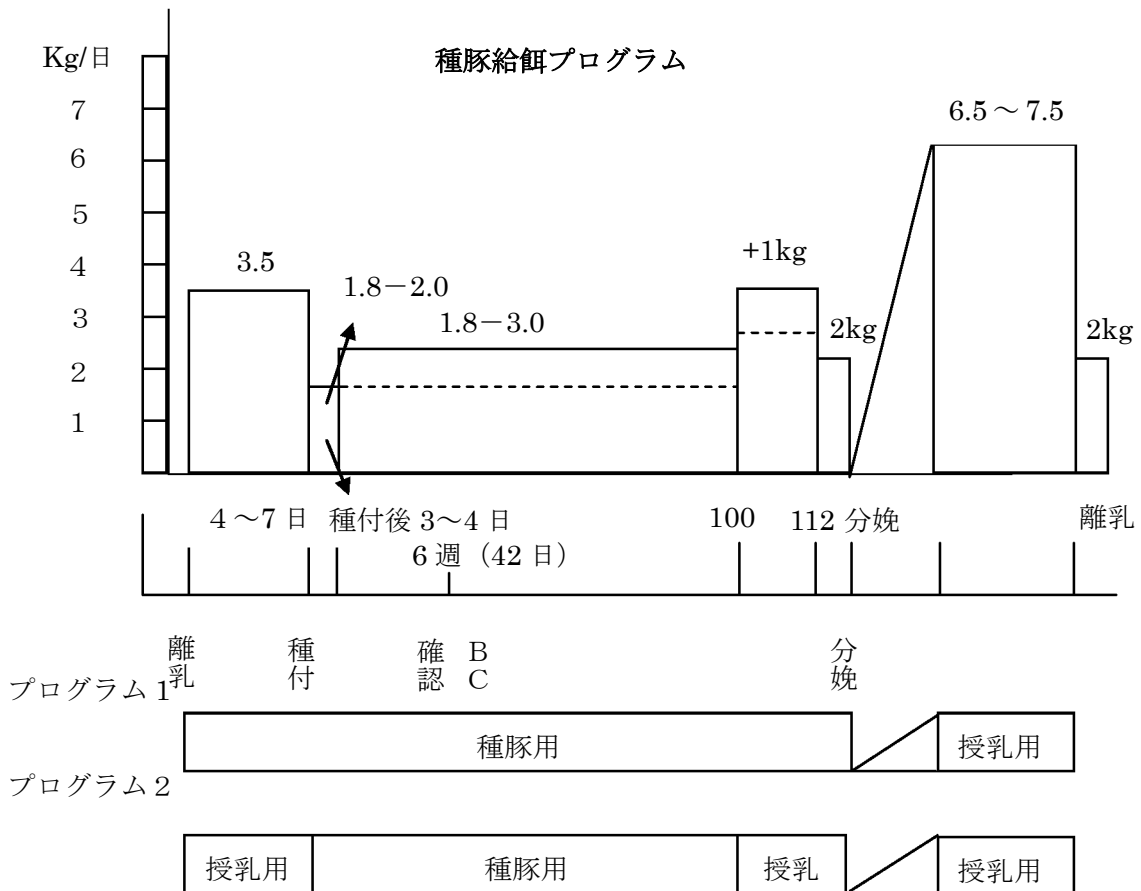
	種付時背脂肪厚 (P2)												
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
目標増体量 (Kg)	40	37.5	35	32.5	30	27.5	25	22.5	20	17.5	15	15	10
推定背脂肪増加	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	-1
種付時体重	一日飼料給餌量 (妊娠中期の体重ベース)												
150Kg (小)	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7
180Kg (中)	2.8	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.0	2.0	2.0
230Kg (大)	3.1	3.0	3.0	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3

(一般的な背脂肪厚と給餌量の関係)

表の見方

上記の表は体重別、測定時点での背脂肪厚と妊娠中の給餌量の目安を示しています。たとえば、体重 180Kg の種付母豚の背脂肪が 15mm の時、種付後 3 日から妊娠 100 日までの給餌量は一日 2.3Kg が必要です。これにより背脂肪増加 (+4mm) を見込んで理想の 19mm に達します(分娩舎導入時)。

表はあくまでも目安ですので、飼料の質、環境温度、豚の状態などさまざま事情で変化しますので、適宜給餌量は農場ごと、季節ごとに調整していく必要があります。



(グローバルピッグファームグループの種豚給餌基本プログラム)

使用上のご注意

本機は電子部品を有する精密機械です。以下のような乱暴な取扱は、故障の原因となりますのでご遠慮ください。

- 1) 落とさない。
- 2) ケーブル部位を引っ張らない、ねじ曲げない、折らない。
- 3) 水にぬらさない。

保守管理

- ① 電源ボタン部位に水や流動パラフィンが過度に付着・浸入すると故障の原因になります。こまめにペーパータオル等で拭き取るようにしましょう。
- ② 本機にはリチウムイオン式バッテリーが内蔵されています。寿命は約2-3年間ですが、フル充電で使用時間が徐々に短縮されてきたら、バッテリーの交換時期です。弊社までご連絡ください。

修理保証は、ご購入から1年間

ご購入後、1年以内の製造上の欠陥・不良による修理については弊社が保証いたします。但し、不適切なお取扱による故障につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

また、本品に関してのお問い合わせは下記のご連絡先までお気軽にお問い合わせください。

グローバルピッグファーム株式会社

E-mail:kizai@gpf.co.jp